



TITLE:

關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

CITATION:

神戸, 正雄. 關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況. 經濟論叢 1917, 4(2): 270-289

ISSUE DATE:

1917-02-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127158>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

經濟論叢

號二第

卷四第

行發日一月二年六正大

論說

- 「一經濟學者ノ第二思想」ヲ讀ム……………法學博士 河上肇
官業問題ニ就キテ(一)……………法學博士 神戶正雄
體質廢頽問題(三)……………法學博士 財部靜治
經濟心理學ノ組織的研究(二)……………米田庄太郎
消費ニ關スル學說ノ發達(二)……………瀧本誠一

時事問題

- 減債基金論……………法學博士 小川郷太郎
日支經濟關係ノ真相……………法學博士 戶田海市
關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況……………法學博士 神戶正雄

雜錄

- 經濟雜話(八)……………法學博士 田島錦治
中世ニ於ケル賣買ノ擔保……………文學博士 三浦周行
不換紙幣ノ價格ニ付テ河上博士ニ答フ……………法學博士 戶田海市
米ノ卸賣價格ト小賣價格……………法學士 河田嗣郎
植民國トシテノ丁抹ノ末路……………山本美越乃

關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況

神戸 正雄

(一)

今ヤ有史以來未曾有ノ大戦争ガ初マツテ既ニ二年有半ニモナルガ、未タニ講和ノ孰レノ日ニ有ルヤ其見當モ着カナイ。此戦争ハ既ニ日本ノ經濟上ノ地位ニ偉大ナル變化ヲ與エ、絶對的ニ之ヲ有利トシタ。又益々有利トシツアル。歐洲ノ交戰國タル諸大國ニ比シテハ相對的ニモ有利トシタ。唯タ米國ニ對シテハ相對的ニ不利タル所テアリ、此點ニ於テ先ツ樂觀ノ中ニモ油斷ノナラヌコトヲ稽ヘナケレバナラヌガ、更ラニハ此戦争ガ何時平和克復トナルカモ知レズシテ、其平和克復トナレバ今日ノ有利ナル情勢モ若干減殺サルヘキデアリ、且ツ又今日ノ困迫シタル歐洲諸國ノ復活力モ決シテ侮ルヘカラサルモノ存スル所デモアルカラ、今日日本ガ戦争トイフ天與ノ好機ヲ利用スヘキハ勿論デアルガ、戦後ニ於ケル用意ヲモ十分ニシテ、此好地位ヲ永ク維持スルコトヲ計ラナケレバナラヌ。加之此戦時中ニ我經濟ヲ進メテ行ク間ニモ、色々ノ故障ガ起ツテ之ヲ妨害スルモノガアリ、之ヲ如何ニ切援ケテ行クカ、并ニ之ヲ如何ニ戦後ノ發展ノ基礎タラシムヘク導クカトイフコトモ當面ノ緊要ナル問題デ、之ヲモ適切ニ解決シナケレバナラヌ。政府ガ是ニ見ル所アツテ、曩キニ經濟調査會ヲ起シテ着々之ガ調査ニ從事シツアルコトハ、洵ニ時需ニ應ジタ結構ナコトデアルガ、茲ニ又我國商工業ノ重點タル京阪神方面ノ重ナル商業會議所ガ聯合シテ

別ニ經濟調查會ヲ組織シテ、齊シク此調查事業ヲ創メテ居ルコトハ前者ト並デ有益ナルコトデアル。既ニ政府ノ調查會アル以上ハ、民間ノ調查會ハ無用ノ如クデアルガ、此ガ政府ニテハ爲シ得ザルモノヲ爲シ得ルノ長所モアルカラ、決シテ無用トイフコトヲ得ナイ。

(二)

此調查會ハ昨大正五年五月以來ノ事業デ、参加セル會議所ハ大阪京都神戸名古屋四日市和歌山ノ六會議所デ、最近ニハ岡山ガ加ハルコトナツタ。京都ニ中央調查部ガ置カレテ、京都大學ノ政治、經濟科ノ若干教授ガ特別會員トシテ之ニ参加シ其調査ヲ助ケ、蒐集サレタル材料ニ基キ、屢々集會シテ協議ヲ遂ゲ、毎月一回例會ヲ開イテ各會議所代表者諸君ト共ニ審議ヲ重ネテ決議ヲ爲シ、決議ハ別ニ實行委員ニ於テ實行ヲ努メツツアル。問題ハイフ迄モナク戰時及戰後ノ經濟デ各調査事項ハ即チ此ノ戰時及戰後ノ經濟ニ對スル關係ノ輕重ニヨツテ選擇シ、調査審議ノ順序ハ右關係ノ緩急ニヨツテ之ヲ定メル。其手始メトシテ聯合與國ノ經濟同盟ニ對スル態度ヲ決定シタ蓋シ此ガ我國經濟政策ノ根幹ヲ成スモノト認メラルルカラデアル。此ハ恰カモ巴里會議開會前デアツタガ、其ノ巴里會議ガ開カレテ其決議ノ公表セラルルヤ、之ヲ前ノ此調查會ノ決議ト結付ケテ更ラニ巴里會議ノ決議ニ對スル態度ヲ決定シタ。之ト並ンデ當時頻々トシテ起リ我經濟ノ障礙トナツタ英露佛伊等ノ禁輸ニ對スル處置ヲ決定シ、又對露決濟ノ方法ヲ軍需品代金ト一般輸出品代金トニ分ツテ決定シ、更ラニ輸出検査及商務官設置等ヲ決定シ、航路新設擴張案ヲ決定シ、今ヤ海外特ニ對支投資問題ニ入リツツアル。其間英國莫大小禁輸問題、浦蘆禁輸問題濠洲亞鉛、鐵處

分問題、濠洲羊毛賣止メ問題等臨時ニ起リ來ル重要問題ニツキテモ其々調査ヲ進メ、且ツ應急ノ處置ヲ怠ラナカツタ。而シテ就中巴里決議ニ對スル日本ノ態度ヲ決スルニツキテハ、輿論ノ此ニ對シ冷淡又ハムシロ反對ニ傾キツツアツタニモ拘ラズ、大體之ニ賛成スルノ日本ノ經濟ニトリ有利ナルコトヲ明ニシ、此調査會ノ決議原案ハ全國商業會議所聯合會ノ是認スル所トナリ、當時不安定ナリシ政府ノ態度ヲモ動カシテ之ヲ認メシムルコトトナツタ。其他禁輸交渉ハ巴里決議ニ對スル態度ト並デ全國商業會議所聯合會ノ採用スル所トナリ、日本ノ商工業者ノ意思トシテ外國ニ向ツテ公表セラレタ。對露決濟、輸出檢査、商務官設置案ニツイテモ、此調査會ノ決議カ些小ナル修正ヲ以テ全國商業會議所聯合會ノ容ルル所トナリ、輸出檢査、商務官設置ハ政府モ採用スルコトヲ公言シタ。臨時的ノ問題ノ中ニ就キテモ、莫大小問題ニハ此調査會テハ特別ナル注意ヲ拂ツタ所デ、政府筋デハムシロ問題ヲ悲觀シツツアツタガ、調査會ニ於テハムシロ當業者ヲ激勵シテ、言論及文章ヲ以テ聲援シ、其反響ノアツタ爲メカ否乎、英國ヲシテ我望ニ聽イテ解禁ヲ爲サシムルコトトナツタ。以上ハ此調査會ノ半年間ノ事業デアル。顧ミテ此調査會ガ日本ノ經濟ノ實際ニ若干ノ貢獻ヲ爲シタルコトヲ潛稱スルモ不當ナラズト思フガ、併シ同時ニ我等同人ガ精力ヲ此調査事業ニ割キタル爲メ、學理ノ研究ヲ忽ニシタル嫌アリトイフ誹ハ甘受シナケレバナラヌ所デアル。

(三)

下ニ此調査會ノ諸決議及其理由ノ大要ヲ列舉シヤウ。

(一) 聯合與國經濟同盟ニ對スル態度

聯合諸國間ニ經濟同盟ノ成立スル場合ニハ我國ハ左ノ條件ヲ提出シテ之ニ加入センコトヲ望ム

(1) 經濟同盟ニハ聯合諸國ノ植民地ヲモ加フルコト

(2) 我國ノ輸入品ニ就テハ左ノ事項ヲ要求スルコト

(イ) 聯合諸國品ニ對スル輸入税ニ就テハ大體現狀ニ依ルモ現行通商條約締結後殊ニ戰時ニ起レル事業ヲ保護スルカ爲メ輸入税ヲ新設又ハ變更スルノ權利ヲ留保スルコト

(ロ) 聯合諸國ヨリ輸入スル原料品ニ對シ聯合諸國ハ輸出税其他ノ方法ニ依リテ其輸出ヲ阻碍セザルコト

(ハ) 中立國品中有税品ニシテ聯合諸國ヨリモ多量ニ輸入スルモノニ非レハ差別税率ノ適用ヲ認メサルコト

(ニ) 敵國品ニ對シテモ特殊ノ物ニ限り過度ノ重税ヲ認メサルヲ我國ノ輸出品ニ就テハ左ノ事項ヲ要求スルコト

(イ) 聯合諸國ハ成ルヘク我輸出品ニ對スル輸入税ヲ輕減スルヲ聯合諸國ハ輸入税ニ就キ從來ノ不對等ヲ改メ協定税目ヲ擴張スルコト

(4) 聯合諸國ト其植民地トノ間ノ特惠關稅ハ成ルヘク之ヲ小ニスルコト

(第二) 大體ノ理由

我國ハ戰後ニ於テ世界各國ノ通商貿易力戰前ノ平和狀態ニ復歸スルコトヲ利益トスト雖モ若シ聯合諸國ニシテ獨逸ヲ排斥ス

時事問題 關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況

ル所ノ經濟同盟ノ組織ヲ必要トスルニ於テハ我國モ聯合諸國トノ從來ノ親善關係ヲ繼續スルカ爲メ強テ之ニ加盟スルコトヲ拒マサルヲ得策トス只タ之ニ加盟スルコトハ飽クマテ獨逸ヲ敵トシテ之ト戰フモノニ外ナラスシテ曩キニ我國ハ非單獨講和條約ニ加盟セルガ爲メニ貢フ所ノ責任ノ外更ニ甚大ノ責任ヲ負ハサルヘカラス特ニ此經濟同盟ニ依ル戰闘ハ持久的性質ヲ有スヘキカ故ニ我國ノ經濟上ノ損害ハ甚タ大ナラサルヲ得ス故ニ國民ヲシテ此同盟ニ忠實ナラシメンストレハ加盟ニ依テ生スル所ノ損害ニ對シ公平ナル報償ヲ求メサルヲ得ス我國力上記ノ如キ條件ヲ提出スルハ實ニ同盟ノ成立ヲ鞏固ナラシムル所以ニ外ナラサルナリ

(第二) 各條件ノ理由

(1) 聯合國側ニ屬スル市場ニシテ今後我輸出ヲ發展セシムルノ望最モ多ク同時ニ我工業ノ維持發達ニ必要ナル原料ヲ最多ク供給スルモノハ印度、滿洲、佛領印度支那等ノ植民地ナリトス故ニ若シ此等ノ植民地力經濟同盟ニ加入セザルトキハ我國力之ニ加入スルモ徒ラニ損害ヲ蒙ラサルヲ得ス是レ本條件ノ必要ナル所以ナリ

(2) (イ) 我國ハ通商條約ニ於テ英佛ニ對シテ輸入税ニ就キ多大ノ讓歩ヲ爲シ之カ爲メ産業保護ノ上ニ不利ヲ感スルコト少ナカラス故ニ經濟同盟ニ加入スルヲ機トシテ我産業政策ニ適ハシムルヤウ現行條約全部ノ變更ヲ求ムルコトハ之ヲ希望セサルヘカラスト雖モ事或ハ容易ニ行ハレザラン仍テ聯合國品ニ對スル輸入税

ニ就テハ大體現狀ニ依ルコトヲ承諾スルモ亦已ムヲ得サルヘシ然レトモ現行條約ニ於ケル協定税目以外ニ新ナル讓歩ヲ爲スコトハ斷シテ之ヲ避ケサルヘカラス尙進テハ現行條約締結以後殊ニ戰時ニ於テ勃興セル重要ノ新事業ニシテ保護ノ度ヲ高ムルノ必要アルモノニ就テハ之ヲ條約ノ協定ヨリ除外シテ自由ニ保護税ヲ定ムルノ權利ヲ得ルカ又ハ更ニ協定税率ヲ適當ニ變更スルコトヲ要求セサルヘカラス

(ロ) 印度ニ於テハ從來其棉花ニ輸出税ヲ課スヘシトノ税度々行ハレ而モ頗ル有力ナルカ如シ其他ノ英佛ノ植民地ニ於テモ將來原料品ニ輸出税其他ノ方法ニコリ其輸出ヲ阻碍スル場合ナキヲ保シ難シ是レ本條件ヲ必要トスル所以ナリ

(ハ) 經濟同盟ヲ鞏固ニスル爲メ之ニ加入スル國ノ物品ニ對シテハ中立國品ニ對シテヨリモ輕キ輸入税ヲ課スルコトハ已ムヲ得サルシヘ然レトモ我國ノ經濟ニ必要ナルカ爲メ無稅輸入ヲ認ムル貨物ニ就テハ中立國品ト雖モ之ニ課税スルヲ得ス故ニ差別税ノ適用アルハ中立國品中有税品ニ限ルヘキカ其有税品ニ就テモ中立國ヨリ輸入スルト同時ニ聯合國ヨリモ多量ニ輸入シ聯合國品ト中立國品ト力競争スル場合ニ非レハ差別税ノ適用ヲ承認スルヲ得ス

(ニ) 我經濟ニ必要ナル輸入品ニシテ經濟上又ハ技術上敵國品ヲ使用スルヲ利益トスルコトアルノミナラス染料醫藥品ノ如キ獨逸以外ヨリ之ヲ求ムルコトヲ得サルモノアリ故ニ此ノ如キ特殊ノ敵國品ニ對シテ輸入禁止ヲ行フヲ得サルハ勿論過度ノ重税ヲ課スルコトモ承認スル能ハス

(3) (イ) 聯合諸國ハ英本國及印度ヲ除キ一般ニ苛重ノ輸入税ヲ設ケ我輸出ノ發展ヲ妨グルコト大ナリ聯合諸國ニシテ經濟同盟ニ依リ單ニ獨逸ヲ排斥スルノミナラス聯合國相互ノ間ノ經濟上ノ接近ヲ圖ラントスレハ聯合國諸國ハ此際我輸出品ニ對シテ關稅ヲ引下グルヲ要ス殊ニ東洋南洋ニ於ケル聯合國諸國ノ植民地ニ於テ然リトス

(ロ) 我國ハ現行通商條約ニ依リ英佛ニ對シテ輸入税ニ就キ多大ノ讓歩ヲ爲セルニ反シ英佛ノ我國ニ對シテ協定セル程度ハ甚タ少ク大ニ公平ヲ缺ケルモノアルノミナラハ從來露伊兩國ハ税目協定ヲ肯セス又加泰陀以外ノ植民地ハ未タ通商條約ノ適用ヲ承認スルニ至ラス甚シキハ佛領印度支那ノ如キ我國ノ貨物ニ對シテハ支那ノ貨物ヨリモ不利ノ待遇ヲ爲シツツアリ然レニ一面世界ノ形勢ヲ見ルニ戰後各國ハ財政ノ必要ト保護主義ノ實行トノ爲メ大ニ關稅ヲ增加スルノ危險アリ故ニ此際我國ハ聯合國諸國ニ對シテ我重要輸出品ニ對シテ税率協定ヲ爲サシメ置クノ必要アリ(4) 我國ハ經濟同盟ニ加入シテ蒙ル所ノ損害ハ聯合國諸國ノ植民地ニ對シテ大ニ發展スルニアラサレハ之ヲ償フコト難シ然ルニ印度以外ノ諸植民地ハ概シ母國品ニ對シテ特惠ノ待遇ヲ爲シ以テ我輸出ヲシテ之ニ向フテ發展スルコト困難ナラシメツツアリ故ニ母國ト植民地トノ間ニ於テ特惠關稅制度ノ未タ存在セサルモノニ對シテハ新タニ之ヲ設定スルコトニ反對スヘキ特惠關稅制度ノ既ニ存セルモノニ對シテハ此際之ヲ撤去スルヲ希望スト雖モ事容易ニ期スヘカラストセハ少クトモ今後之ヲ増加セシメサルハ勿論出來得ヘケンハ更ニ其程度ヲ減少セシムヘキモノ

(四)

(二) 聯合與國經濟會議ニ對スル態度

I 戰時ニ對スル措置——歐洲ノ聯合諸國ハ敵國ト境域ヲ接シテ其間ノ交通ヲ取締ルコト頗ル難ク又從來敵國ト經濟上非常ニ密接ノ關係ナ有シ殊ニ敵國民ノ聯合諸國內ニ住居營業スル者甚タ多カリシモ極東ノ我國ト敵國トノ交通關係ハ甚タ之ト異ナルモノアリ故ニ戰爭中敵國ニ對シテ物資ノ供給ヲ絶ナシ且ツ敵國人ノ活動ヲ抑ヘテ之ヲ取締ルコトヲ目的トスル所ノ戰時的措置ニ就キテ我國ガ聯合諸國ト全然同一ノ手段方法ヲ統一的ニ採用スル事ハ其必要ナクシテ徒ラニ我國ノ損害ヲ大ナラシムルカ故ニ我國ハ我特有ノ事情ヨリ見テ此目的ニ適合スル措置ヲ採ルコトヲ必要トス但シ聯合諸國ノ輸出入禁止制限力往々ニシテ味方タル我國ニ對シ必要ノ物資供給ヲ杜絶スルカ如キ場合ヲ生スルハ可成之ヲ防止スルノ方法ヲ講セサルヘカラス

(II) 戰後應急手段——戰後敵國ノ經濟的侵迫ニ對シテ輸入

稅其他ノ方法ニ依リ聯合諸國一致シテ之ニ備フルト同時ニ聯合諸國ノ間ニ經濟上ノ接近ヲ圖ルヲ要ス此目的ノタメ聯合諸國ハ各其本國及屬領内ノ天然資源ヲ互ニ開放シテ輸出稅其他ノ方法ニ依リ之ガ輸出ヲ妨害セス又各國間ノ輸入ニ付テモ輸入稅ヘ可成現狀ヲ維持シ同時ニ各國ハ母國ト植民地トノ間ニ於テ特惠制度ノ増加又新設ヲ行フコトニヨリ他ノ聯合國ノ輸出ヲ妨害セサルコトヲ要ス但シ我國ト英佛トノ通商條約ニ於ケル稅目協定ハ

時事問題 關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況

公平ヲ缺クモノアルカ故ニ此際正當ナル利益ノ交換トナルカ如ク之ヲ改メ又露國トハ未タ稅目ノ協定ナク加フルニ聯合諸國ノ重要植民地ハ加奈陀ヲ除クノ外未タ通商條約ノ適用ヲ見スト雖モ斯ノ如キハ聯合國相互ノ經濟的結束ヲ固クスル所以ニアラサルカ故ニ此際之ヲ改ムルコトヲ必要トス此見地ヨリシテ聯合國經濟會議決議第二ニ對シテハ下ノ如ク其各條ニツキテ意見ヲ附シ且ツ新ナル條項ノ設立ヲ要求ス

(1) 戰爭ニ由リ破壞ヲ蒙レル諸國ノ原狀回復ノ件

本件ニ關シテハ共同的考究ヲ爲スニ同意スルコト

(2) 敵國ニ對シ最惠國條款ヲ拒ムノ件及ビ聯合諸國間ニ代價的捌口ヲ確保スルノ件

敵國ニ最惠國待遇ヲ拒ムノ件ニ對シテハ異議ナキコト

聯合國間ニ代價的捌口ヲ確保スルノ件ニ就キテハ我國ハ聯合諸國品ニ對スル輸入稅ヲ大體原狀ニ止ムルノ主義ニヨリ其方法ヲ

攻究スルニ努力スルコト

(3) 聯合國相互間ニ於ケル天然資源共通ノ件

聯合國間ニ天然資源ヲ共通ニ利用スルコトハ其間ノ經濟上ノ接近ヲ圖ルニ付キ最重要ナルカ故ニ輸出稅其他ノ方法ニヨリ之ガ輸出ヲ妨害スヘカサルハ勿論之ガ交易ヲ便利ナラシムル特別

ノ取極メヲ速ニ決定スルコト

(4) 敵國品及敵國船排斥ノ件

我工業ヲ保護スルタメニ大體必要ナリト認メテ之ニ同意スル

敵國船舶ノ排斥ニ同意スルト同時ニ聯合國ノ我船舶ニ對スル待

遇ニ付テハ現狀ノ變更ヲ爲ササルヲ要求スルコト

(5) 聯合國內ニ於ケル敵國民ノ事業阻止ノ件

本件ニ關シテハ異議ナキコト

(6) 聯合諸國ノ我輸出品ニ對スル待遇ノ改正ヲ求ムルノ件

我國ト英佛トノ現行通商條約ニツキ對手方ノ稅目協定少クシテ之ニ對スル我國ノ協定多キニ失スルカ故ニ此際斯ノ如キ不對等ノ關係ヲ改ムルコト

我國ト露國トハ從來稅目協定ナクシテ通商ヲ妨グルカ故ニ此際可成多ク稅目ノ協定ヲ爲スコト聯合諸國ノ植民地ニ對シテモ其母國ト我國トノ通商條約ノ適用ヲ求ムルコト

(7) 聯合諸國ト其植民地トノ間ノ特惠關稅ニ關スル件

聯合諸國ハ其植民地トノ間ニ特惠關稅ヲ增加又ハ新設シテ我國ノ之ニ對スル輸出ヲ妨ケサルヲ要求スルコト

(III) 聯合國間ニ於ケル共助及協力ノ永久的措置

敵國ニ對シテ經濟的獨立ヲ保ツガ爲メ聯合諸國カ各國ノ主義ニ從ヒ其產業ノ發達ヲ圖リ同時ニ相互ノ間ノ經濟上ノ接近ヲ圖ルノ方法ヲ講スルコトヲ必要ト認メ其方法ノ速ニ決定セラルルヲ希望ス唯聯合諸國カ各自ニ其產業發達ノ爲メニ行フ政策カ相互ノ經濟上ノ接近ヲ妨グルカ如キ結果ヲ生シメサルヤリ適當ノ方法ヲ講スルコトヲ必要トス

右決議ノ理由

(1) 今後貿易ノ發展ニ付テハ獨リ輸出方面ニ注意ヲ要スルノミナラス同時ニ原料ノ輸入ヲ安全低廉ナラシムルコト緊要ナリ而シテ棉花羊毛麻其他各種ノ礦物ヲ始メ我國ノ產業ニ最重要ナル原

料ハ中立國タル米國及支那ノミノ供給ニ供賴スルヲ得ス寧ロ印度澳洲南洋ノ英佛領及露領亞細亞ノ供給ヲ以テ重要トス是レ聯合國間ニ天然資源ノ共通利用ヲ主義トスル經濟同盟ヲ成立セシメテ我國カ之ニ加入スルノ必要アル所以ナリ然ルニ戰後聯合國間ニ經濟同盟成立セサル場合ニハ英佛露ノ諸國ハ各其本國ト東洋南洋ノ屬領トノ經濟的結束ヲ固クシ其領内ノ天然資源ノ利用ニ付テモ自ラ優先權ヲ握リ外國ヲシテ戰前ノ如ク自由ニ之ヲ利用セシメサルノ危險甚大ナリ

(2) 今後我輸出貿易ヲシテ我經濟全體ノ進歩ト安全トヲ助グルカ如ク發展セシムルニハ第一ニハ從來ノ如ク支那及米國ノ兩國ニ偏スヘカラス更ニ汎ク市場ヲ開拓セサルヘカラス特ニ此兩國トハ今後政治上ノ難問題ヲ生シテ貿易ヲ不安ナラシムルノ虞最多キカ故ニ此兩國以外ニ大ナル新販路ヲ求ムルノ必要アリ然ルニ近キ將來ニ於テ有望ナル新販路ハ印度澳洲露國等ノ聯合國側ノ屬領ヲ主トス第二ニ我輸出品ハ今後益原料粗製品ヨリ全製品ニ向ハサルヘカラス特ニ科學ト資本トノ力ニ重キヲ置ク所ノ現代的工作工業品ノ輸出ヲ主トセサルヘカラス是レ獨リ一般ノ經濟發展ノ爲メニ必要ナルノミナラス全製品ハ其品種類多種ナルカ故ニ之ヲ輸出スルニ當リ其一部ニ於ケル不振ハ他部ニ於ケル盛況ヲ以テ之ヲ補償シ全體ニ於テ輸出ヲ安固ナラシムルニ必要ナレバナリ然ルニ此種ノ我工業品ノ新販路トシテ有望ナル國モ亦前述ノ如キ聯合國側ノ屬領ヲ主トス第三ニ戰後若シ各聯合國カ獨立シテ其經濟政策ヲ定ムルコトナレハ本來保護主義ヲ採レル佛露ハ勿論自由主義ヲ採リシ英國モ亦保護主義ト變シ其東

洋南洋ニ於ケル廣大ノ屬領ノ經濟上ノ結束ヲ堅クシ特ニ其屬領トノ間ニ特惠關稅ヲ新設又ハ増加シテ母國工業品ヲシテ其屬領内ニ優先權ヲ占メシムルノ危險甚大ナリ故ニ此際我國ハ聯合諸國就中英國カ如上ノ保護主義ヲ採ルコトヲ牽制防止スルカ爲メニ相互ノ間ニ現狀維持ヲ原則トスル經濟同盟ヲ成立セシメサルヘカラス

(3) 現狀維持ヲ大體ノ原則トスル經濟同盟ヲ成立セシメントスルトキハ我國ノ現在採用セル保護主義ハ之ヲ變更スルノ必要ナシト雖モ戰爭中ニ勃興セル新事業ヲ維持發展セシムル爲メニ過大ノ保護稅ヲ新設スル事ハ困難トナルヘシ若シ我國カ強テ高度ノ保護稅ノ設定ヲ主張スルトキハ一面我國ニ有利ナル經濟同盟ノ成立ヲ不能ナラシムヘケレハナリ然リト雖我國カ此種ノ新事業ヲ維持發展セシムルカ爲メニハだんびんぐノ能力特ニ大ナル獨逸品排斥ノ關稅制度カ既ニ大イナル効力ヲ有スルノミナラス關稅政策以外ノ方法就中科學ノ研究應用工業資金ノ融通對外交通及金融機關ノ改善亦大ナル効力ヲ有スルカ故ニ我國ハ此際須ラカ此種ノ保護助長ノ方法ヲ講スルコトニ努メサルヘカラス

(4) 戰後ニ於テ世界の大植民地ヲ有スル英國カ保護貿易の帝國主義ヲ實行スルトキハ之ニ由テ最打撃ヲ蒙ル聯合國ハ佛國ト我國トナリサレハ佛國ニ於テモ先見ノ明アルモノハ此危險ヲ防止スル爲メ經濟同盟ヲ熱心ニ贊成シツツアリ故ニ我國ハ此際佛國ト提携シテ經濟同盟ノ成立ニ努メサルヘカラス

(5) 聯合諸國ノ間ニ經濟同盟成立セル場合ニ我國カ之ニ加入ヲ拒ミテ中立ヲ守ラントスレハ獨逸ヲモ經濟上成ルヘク聯合諸國ト

時事問題

關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況

平等ニ取扱ヒテ双方ニ對シ不偏不黨ノ實ヲ示ササルヘカラス然ルニ此政策ヲ採ル事ハ獨リ政治上英露佛トノ在來ノ親善ヲ保ツコト難キノミナラス經濟上ニ於テモ中立ヨリ生スル損害ハ利益ヨリモ遙ニ大ナリ何トナレハ輸入方面ニ於テハ我工業ニ重要ナル原料ヲ得ルニツキ危險トナルト同時ニ聯合國側及獨逸側ノ双方ヨリ激烈ナルだんびんぐヲ蒙ルノ危險アリ又輸出方面ニ於テハ少額ノ對獨逸輸出ニ付テ幾分ノ利益アルヘキモ更ニ巨額ニシテ且ツ増進ノ見込大ナル印度濠洲露國等ノ聯合國側ノ重要ナル市場ニ發展スルコト困難トナレハナリ英國首相カ下院ニ於テ巴里會議ノ決議ニ贊成ノ意見ヲ公表セル今日ニ於テ我國カ荷之ニ對スル意見ノ決定ヲ躊躇スルニ於テハ同決議ニ對シテ我國ニ有利ナル修正ヲ加ヘシムルコト次第ニ困難トナルニ至ルヘシ

(6) 聯合諸國ニ對スル戰後ノ經濟策ニツキ我國ノ態度ハ頗ル曖昧不定ノ嫌アルカ如キモ我國ニ有利ナル經濟同盟ヲ成立セシメントスレバ此際我國ハ之ニ對スル態度ヲ確定セサルヘカラス特ニ我國ノ實業界カ聯合諸國ト相提携スルノ意見ヲ確立シテ聯合諸國ノ實業界ト交渉シテ之カ實現ニ努ムルノ必要アリ是レ茲ニ巴里決議ニ對スル態度ヲ定メテ我對外經濟策ノ根本主義ヲ確立セントスル所以ナリ

(五)

(三) 英露禁輸ニ對スル交涉案

(I) 英國ノ輸出入禁止ニ對スル交涉案

貴國カ輸出入ニ對シテ禁止及制限ヲ行フコトハ戰時ニ處スルタ

メ必要ノ制度ナルヘシト雖モ此制度ハ之ヲ貴國ト我國トノ間ノ輸出入ニ適用スルニツキテハ成ルヘク寛大ノ處置ヲ採ララルコトヲ希望ス是レ此制度ハ現ニ我工業者ニ多大ノ苦痛ヲ與フルノミナラス聯合諸國ノ戰爭ニ必要ナル物資ノ供給ヲ迅速且ツ豊富ナラシムルニ付テモ不便ヲ生スルコト少カラス又戰後モ永ク貴國ト經濟上親密ノ關係ヲ保持相互ノ利益ヲ完フルニツキ重大ノ障礙ヲ來スノ危險アレハナリ輸出禁止及制限ノ實行ニツキ貴國カ今日マテ我國ニ對シテ數多ノ寛大ナル取扱ヲ與ヘタルコトハ我々ノ深く感謝スル所ナリト雖モ今日我國カ貴國ヨリ鐵材機械とつぶ等ヲ得ルコトヲ切望スル重要ノ理由ハ第一聯合諸國就中露國ニ對シテ多量ノ兵器其他ノ軍需品ヲ生産供給シ第二ニ我國イ船舶ノ多數ハ聯合諸國ノ爲メ輸送ニ從事スルヨリ我國ノ船腹ノ缺乏甚シク之ガ爲メ造船ノ必要ノ切迫セルコトニ在リ故ニ今後成ルヘク我國ニ對シテ鐵材機械等ノ供給ヲ増加セラレンコトヲ希望ス又貴國カ奢侈品輸入禁止及制限ヲ我國ニ對シテ行フニ方リ注意ヲ請ハサルヲ得サルハ第一ニ我國ノ輸出品ハ我國ノ船舶ニ由テ輸送セラルルノミナラス我船舶ノ多數カ聯合諸國ノ爲メニ輸送シツツ其船腹調節ノ任ニ當リ第二ニ我國ノ輸出品ニ依リ得タル正貨ハ或ハ倫敦ニ於テ保管セラレ或ハ英國及佛國ニ對スル公債ノ償還又ハ露國大藏省證券ノ應募ニ充テタル部分甚々大ナルノ事實アリ此等ノ事實ニ顧ミテ我國ニ對スル此禁止制度ノ適用ヲ成ルヘク寛大ニシ特ニ眞ノ奢侈品ニアラサル商品ハ禁止令ヨリ除外セラレンコトヲ希望ス又將來輸入禁止ノ實行セラルルニ付テハ適當ノ豫備期間ヲ設ケ特ニ既往ノ契約ヨリ生シ

タル權利ヲ尊重セラレンコトヲ希望ス

(II) 露國ノ輸入稅新設増加及輸入禁止ニ對スル交涉案

貴國カ近來輸入稅ヲ新設増加シ又目下奢侈品輸入禁止ノ議セラレツツアルコトハ戰時ニ處スル必要ノ措置ナルヘシト雖モ此事タルヤ我經濟界ニ大ナル苦痛ヲ與フルノミナラス戰後ニ於テ貴國ト我國トノ經濟上ノ接近ヲ圖ルニツキテ重大ナル障礙ヲ來スノ危險アリ目下我國ノ船舶ノ多數ハ貴國ノ爲メニ輸送ニ從事セルノミナラス貴國ニ對スル我輸出品代金ノ一部ハ貴國ノ大藏省證券ノ引受ニ由テ決済セラレツツアルノ事實ニ顧ミ此際成ルヘク貴國ト我國トノ輸出入ニ對スル障礙ヲ除去セラレンコトヲ希望ス

右交渉ノ理由

歐洲戰爭ハ我産業ノ發展ニ對シ絶好ノ機會ヲ與フルモノナリト雖モ聯合諸國カ類々トシテ輸出入ノ禁止及制限ヲ行フ事ハ其發展ヲ妨クルコト大ナリ而モ其禁止制限ノ實行タルヤ必スシモ戰爭遂行上絕對ニ必要ナル範圍ニ限ラレスシテ國內産業ノ保護ト他國ノ産業勃興ノ抑壓トノ爲メニモ行ハルルカ如ク又禁輸制度ナ此ノ如キ國產保護ノ手段トシテ實行スルニ付テハ聯合各國ノ實業界就中商業會議會所ノ運動力大ニ與ツテ力アルカ如シ我産業ヲシテ戰時ノ好機會ニ乘シ充分ノ發展ヲ爲サシメ特ニ之ヲシテ物價暴騰ノ今日ニ於テ充分ノ利益ヲ得セシメ以テ戰後ニ起ルヘキ列國ノ競爭及早晚來ルヘキ世界經濟ノ不景氣ニ對シ充分ノ

抵抗力ヲ得セシムルカ爲メニハ此際聯合諸國ヲシテ我國ニ對スル禁輸制度ノ適用ヲ成ルヘク緩和セシメサルヘカラス聯合諸國ト提携シテ其戰爭ノ遂行ヲ助ケツツアル我國ハ之ニ對シテ禁輸制度ノ適用ノ緩和ヲ請求スルモ正當ノ理由アルカ故ニ其緩和ニシテハ此際ニ大ニ交渉セサルヘカラスト雖モ其交渉ヲ有効ナラシムルニハ先ヅ以テ聯合國ノ經濟同盟ニ對スル我國ノ賛成ノ態度ヲ明カニセサルベカラス若シ我國ニシテ經濟同盟ニ賛成ノ態度ヲ採ルトキハ禁輸制度ノ緩和ヲ求ムルコトハ不能ナル

聯合國ノ輸出入禁止制限ハ獨リ戰時ニ於ケル我産業ノ發展ヲ妨害スルノミナリス此制度ハ偶然又ハ有意ニ國產保護ノ結果ヲ生ジテ聯合諸國ノ實業界ニ於ケル保護熱ヲ極端ニ走ラシメ之ガ爲メ戰後ノ經濟同盟ヲ我國ニ有利ノ組織タラシムルニ付キ大ナル障礙ヲ來タスナ免レス故ニ我國ハ今日速ニ經濟同盟ニ對シ賛成ノ態度ヲ決スルト同時ニ此同盟ノ組織ニ關シテモ亦禁輸制度ニ關シテモ我國ノ道理アル要求ハ憚ル所ナク之ヲ聯合諸國ニ提出シテ之ガ貫徹ニ努メサルヘカラス

(六)

(四) 對露決濟方法

(1) 露國軍需品注文引受及之ニ對スル代金決濟方法

我國ニ於テ露國軍需品ノ注文ヲ引受ケントスルハ現下ノ事情ヲ以テスレハ必スヤ或方法ニ依リ留ホ其代金ニ相當スル金額ヲ同

國ニ貸付ケサルヘカラス而シテ相當ノ條件ヲ以テ之ヲ貸付グルヲ得ハ吾人ハ此際事情ノ許ス限リ其注文ヲ引受ケルヲ以テ我國ノ利益ト爲スモノナリ即チ

第一、戰爭繼續中ハ輸出超過其他ノ原因ニヨリ我國ノ資金充盈スヘキカ故ニ此際露國ニ對シ軍需品代金ヲ貸付グルモ其額ニシテ過大ニ失セサル限リハ之ガ爲メニ他ニ有利ナル海外投資ヲ爲サントスルニ當リテ我資金ノ缺乏ヲ來タスノ虞ナキノミナラス我ハ又之ニ依リテ相當ノ利益ヲ收メ得ヘケレハナリ

第二、近キ將來ニ於テ他ノ有利ナル海外投資ノ途ヲ發見シテ以テ國內金融ノ緩慢ヲ調節シ得ルニ至ルヘキヤ否ヤハ固ヨリ今日ニ於テ之ヲ豫測スヘカサルカ故ニ此際比較的ニ餘裕アル我資金ヲ活用シテ露國ニ貸付グルハ一面友邦ノ急ニ趣クノ義舉タルト同時ニ一面我カ金融市況ヲ調節スルノ利ヲ致スヲ得ヘケレハナリ

第三、通例海外投資ハ單ニ我國ノ貨幣ヲ外國ニ移用スルニ止マルモノナリ然ルニ露國軍需品ノ注文ヲ引受ケ其代金ヲ貸付ケル場合ニ於テハ密ニ投資ニ依ル收利アルノミナラス一面直接ニ我内地産業ノ興起ヲ促進スルノ益アレハナリ

第四、凡ソ軍需品ノ生産事業就中金屬工業皮革工業毛織物工業等ノ如キハ一國經濟ノ堅實ナル進歩ヲ期スルカ爲メニハ國內ニ於テ充分ニ之ヲ發達セシムルノ必要アリ而シテ今次ノ歐洲戰爭ノ經驗ニ依レハ此等事業發達ノ完否カ國家ノ存亡休戚上直接至大ノ關係アルコトヲ的確ニ立證セリ然ルニ我國ニ於ケル此等ノ事業ハ今尚ホ依然トシテ幼稚不振ノ域ヲ脫スル能ハス從テ今後

我國ハ充分ニ之ヲ發達セシムルカ爲メニハ固ヨリ多大ノ犧牲ヲ拂フノ覺悟ナカルヘカラス特ニ今後ハ各國トモ此種ノ事業ノ獎勵發展ニ力ヲ盡スヘキカ故ニ後進ノ我國カ其間ニ立ツテ之ヲ發達セシムルカ爲メニハ特ニ大ナル苦痛ヲ忍ハサルヘカラサル情勢ニアリ今此等ノ事情ヲ綜合シ來レハ此際我ニ於テ露國軍需品ノ注文ヲ引受ケレハ實際ニ此等ノ事業ヲシテ相當ノ收益ヲ獲得シツツ自ラ作業上ノ熟練ヲ積ミ又其事業ノ基礎ヲ鞏固ニシ以テ戰後列國競爭場裏ニ立チテ能ク其抵抗力ヲ強大ナラシムルヲ得ヘク眞ニ一舉兩得ノ策トイフヘシ

以上ノ理由ニ依リ吾人ハ此際事情ヲ許ス限リ我國ニ於テ露國軍需品ノ注文ヲ引受ケルヲ以テ利益ナリト認ム然リト雖モ其ノ引受ニ對シテ代金貸付ノ必要アル以上ハ其貸付ニ關シ及フ限リ安全有利ナル方法ヲ採ラサルヘカラス是ヲ以テ吾人ハ種々考究ノ結果左ノ二方法中ノ一二ヨリ若クハ之ヲ併用スヘキヲ言ハントス

第一方法、露國ヲシテ一先ツ其財力上ノ共助關係アル英國ニ於テ我ニ對スル債務ヲ決濟セシメ而シテ我國ハ其決濟ニ依リ得タル金額ヲ戰爭終了マテ英國ニ貸付クルニアリ即チ戰爭ノ繼續スル間ハ我國ノ貿易ハ必然輸出超過ノ狀態ヲ持續スヘキカ故ニ假令英國ニ對シテ此ノ如キ貸付ヲ爲スモ實際我カ正貨ノ保持上何等不利ノ事情ヲ生スルノ虞ナカルヘケレハナリ

第二方法、露國ヲシテ其大藏省證券ヲ我國ニ於テ發行セシメ以テ直接ニ決濟セシムルニ在リ此場合ニ於テハ其證券ハ我國ノ貨幣ヲ以テ發行セシムルヲ要スルノミナラス其注文品代金ノ一部分ハ之ヲ現金ニテ決濟セシムルヲ要ス何トナレハ我國カ露國ノ

注文品ヲ生産スルカ爲メニハ必ス外國ヨリ之カ原料ヲ輸入セサルヘカラス隨ツテ之ニ對シテ正貨ヲ外國ニ支拂ハサルヲ得サルカ故ニ此支拂金額ニ相當スルタケノ正貨ハ露國ヲシテ之ヲ負擔セシメ以テ我國ヲシテ直接ニ正貨減少ノ不利ヲ免レシムルヲ得ヘケレハナリ

右二方法中吾人ハ第一方法ヲ以テ上策トシ成ルヘク之ニ依フンコトヲ希望スト雖モ若シ此第一方法ニシテ實行シ得サル場合ニ於テハ第二方法ニ依リテ露國軍需品ノ注文ヲ引受ケルヲ可トスルモノナリ而シテ注文品ノ品種ニ依リテハ時ニ適宜ニ此等二方法ヲ併用スルモ亦可ナリ要ハ唯該注文引受ノ爲メニ累テ我正貨保持トニ及ボスノ憂ヲ鬱カラシムルニアリ

(11) 對露一般輸出品代金決濟方法

(1) 我商品ヲ輸入スル露國商人ヲシテ其輸入代金ヲ露國政府ニ納付セシメ之ニ對シテ露國政府ハ日貨單位ノ大藏省證券ヲ發行シテ之ヲ我輸出商人ニ對スル代金支拂ノ資金トシ我日本銀行ハ此證券ヲ見返擔保ト爲スコト

(2) 現時并ニ將來ニ亘ル對露貿易品代金ノ決濟ヲ圓滑ナラシムルカ爲メ我國銀行業者ハしんじけーミヲ組織シ露國ノ銀行業者ニ對シテモ同様ノ組織ヲ爲スコトヲ勸奨シ以テ兩國貿易ノ増進ヲ圖ルコト

(七)

(五) 重要輸出品検査案

(I) 検査スヘキ商品ノ範圍ヲ定ムル標準

- (1) 重要輸出品タルモノ及ヒ重要輸出品タル見込アルモノ
- (2) 品質ノ重要ナル點ニ於テ整一ナキ期シ得ヘキ商品ニシテ現在ハ小規模ニ生産セラルルモノアルカダメ事實整一ナキ缺ケルモノ
- (3) 技術上比較的容易ニ検査ヲ施行シ得ヘキモノ

(II) 検査ノ内容

- (1) 検査ノ内容ハ商品ノ品質ノミナラス必要ノ場合ニハ荷造ニモ及ボスコト
- (2) 品質ノ検査ハ左ノ標準ニ依ルコト

(イ) 消費地ノ需要ニ適セサル粗悪品ハ之ヲ不合格トシテ其輸出ヲ禁止スヘキコト

(ロ) 鹽 於テ歐米向ト東南洋向トハ合格ノ標準ニ異ニスルコト

(ハ) 合格品ニハ等級ヲ付スルヲ得ルコト

(III) 検査ノ機關

検査ハ政府直接ニ之ヲ行フヲ要ス且シ地方廳又ハ同業組合ノ行フ検査ニシテ適當ナルモノハ此限ニアラサルコト

地方廳ニ於テ検査ヲ行フ場合ニハ主務大臣ニ於テ嚴正ノ監督ヲ加エ検査ノ統一ヲ圖ルコト

同業組合又ハ其聯合會カ検査ヲ行フ場合ニハ検査員ハ地方長官又ハ主務大臣ノヲ選任シ其俸給ハ地方廳又ハ政府ノ負擔トスルコト

(IV) 検査ノ場所

時事問題 關西南業會議所聯合經濟調查會事業概況

政府ノ検査ハ輸出港ニ於テ之ヲ行フ但シ必要ノ場合ニハ原産地ニ於テ之ヲ行フコト

(V) 政府ニ於テ検査ヲ行フ必要トスル重要輸出品目

襪子、莫大小(肌衣手袋靴下)、綿子ル、擦染綿布、ぶらんけつこ(綿製毛製)、綿縫絲、真田、石鹼、ぶらつしゆ、鈕釦、硝子製品、らんぶ及同部分品、洋傘、時計(置掛)、鉛筆、陶磁器、

右決議ノ理由

今次ノ歐洲戰爭ハ我産業ノ發展ニ大ナル刺戟ヲ加ヘ特ニ我輸出貿易ハ未曾有ノ盛況ヲ呈スルニ至リシカ戰後經營上最緊要ナルハ戰爭中ニ我輸出品ノ外國市場ニ占メ得タル地位ヲ戰後ニ於テモ確實ニ保持シテ更ニ益々之ヲ發展セシメ以テ能ク今日ノ輸出ノ増加ハ外國市場ニ於テ從來ノ我商品ニ對スル需要ノ自然の増加ニ由ルモノナキニアラサルヘシト雖モ其主ナル原因ハ歐洲先進國ノ輸出力戰爭ノ爲メニ杜絶セルヨリ我商品ヲ以テ之ニ代用スルカ爲メナリ是レ實ニ戰時ノ輸出増加力平時ノ輸出増加ト大ニ其趣チ異ニスルノ點ナリトス然ルニ歐洲先進國ノ商品ハ概ネ我商品ヨリハ品質優良ナルカ故ニ今日我商品ヲ以テ之ニ代用スル所ノ需者ハ必スシテ満足ヲ感セス歐洲品ノ得難キカダメニ已ムヲ得スシテ一時我ニ待ツ所アルモ戰後ニハ再ヒ歐洲品ノ需要ハ復歸セントスルノ勢ナキニアラス是レ平時ノ輸出發展策トシテハ品質ノ改良ヨリ七價格ヲ低廉ニスルヲ重シトスルコト少

カラサルニ反シ戰時ノ今日ニ在リテハ特ニ品質ニ重キテ置クノ必要アル所以ナリ只タ我工業ノ幼稚ナルカメ品質ノ改良ニハ往々ニシテ困難ヲ感シ強テ歐洲品ト同等ノモノヲ生産セシメントスレハ不相當ニ高價トナリテ却ツテ需要ニ適セサル場合ナキニアラス故ニ品質ノ改良ハ主トシテ當業者各自ノ努力ニ由ル自然ノ發展ニ待サルヲ得スト雖モ海外ノ需要ノ急ナルニ乘シテ實用ニ適セサルカ如キ粗惡品ヲ供給シ之ヲ需要者ニ意外ノ損失ヲ蒙ラシメ爲メニ一般輸出品ノ聲價ヲ失墜セシムルカ如キ粗製濫造ニ至リテハ此際充分ニ之ヲ防止セサルヘカラス平時ニ在リテハ海外市場ニ於ケル列國ノ競爭激甚ナルカ故ニ其間ニ立テ我輸出品ヲ取扱フ所ノ商人ハ及フ限リノ手段ヲ講シテ自由ニ市場ノ掛引ヲ爲ササルヲ得スト特ニ先進國ノ優良品ノ競爭ニ對シ我商品ハ購買力ノ小ナル階級及ヒ地方ナ相手トシテ發展セサルヲ得ス從テ粗製濫造ニ對シ一定ノ取締法ヲ設ケテ當業者ノ自由ノ行動ヲ制限スルコトハ甚タ困難ニシテ又危險ナルヲ免レスト雖モ今日我輸出品ハ外國市場ニ於テ競爭ヲ受ケルコト少ク場合ニヨリテハ獨占的地位ヲ占ムルコトトナレルカ故ニ粗製濫造ノ防止ヲ行フコトモ比較的ニ容易ニシテ又安全ナリ是ヲ以テ現ニ重要輸出品タルモノ及ヒ將來重要輸出品タルノ見込ナル工業品ノ中其性質復雜多樣ナラス又其需要ノ變化少キモノニシテ而モ我生産及取引ノ組織ノ不完全ナルカ爲メニ品質ノ整一ヲ缺キ動モスレハ粗製濫造ノ弊ニ陷リ易キモノニ對シテハ此際成ルヘク汎ソ輸出検査ヲ行ヒ以テ粗製濫造ヲ防クノ必要アリ而シテ此検査事業ハ同業組合同業組合聯合會又ハ道府縣ノ手ニヨリテ之ヲ行フ

ナ適當トスル場合固ヨリ少カラスト雖モ我産業上及輸出貿易上重要ノ關係ヲ有スル品種ニ付テハ國家自ラ其局ニ當リ以テ検査ノ正確ト統一トヲ保チテ其海外市場ニ於ケル聲價ヲ高メサルヘカラス是レ此決議ヲ爲セル所以ナリ

(八)

(六) 商務官並ニ私設商務局設置案

I) 商務官

- (1) 所屬 本官ハ農商務大臣ノ監督ノ下ニ置クコト
- (2) 人選
 - (イ) 成ルヘク公平ニ實業界ノ意見ヲ徵シテ特別任用ニヨリ適當ノ人物ヲ選任スルコト
 - (ロ) 特ニ將來任地ノ經濟關係ノ事業ニ其身ヲ委子ントスルノ志望ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ選任スルコト
 - (B) 任地 從來我カ實業者間ニ市場ノ狀況等ノ未タ詳細ニ探究セラレサルモ將來我貿易上重要ナル關係ヲ有スヘキ見込アル地方ニ在勤セシムルコト

- (4) 任期 就任ノ當時ニ於テ永久ニ任地ニ於ケル事業ニ其身ヲ委子ントスル人物ヲ選任スルノ方針ヲ採ルコトトスル以上ハ成ルヘク其任期ヲ水クシ實際上少クとも五六年間ハ之ヲ動かササルノ保證ヲ與フルコト
- (5) 待遇 商務官ノ待遇ハ領事官ニ準スルコト
- (6) 職務執行ノ手續 我實業界ト商務官トノ間ニ於ル通信交渉力一々監督官廳ノ手ヲ經由スヘキコトト爲ストキハ元來機敏ノ

活動チ尙フ實業界ノ爲メニハ其不便不利甚シカルヘキノミナラ
ス之カ爲メニ自ラ商務官ト實業界トノ間ニ親密ナル接近ヲ爲ス
コトヲ妨グルノ弊アリ唯一面商務官カ個々ノ實業家ト直接自由
ニ通信交渉スルヲ得ルトキハ或ハ時ニ公ヲ缺キ私ニ流ルルノ弊
害ヲ生スルコトナキヲ保セザルカ故ニ之ヲ豫防スルノ手段トシ
テハ商務官ハ商業會議所ニ直接自由ニ通信交渉スルヲ得監督官
廳ニ對シテハ事後報告ヲ爲スヲ以テ足レリトスルコト

(I) 私設商務局設置ノ交涉

上記開拓ノ餘地アル新市ニ對シ特定ノ航路ヲ有スル我海運會
社及之ニ對シ金融關係ヲ有スル特權銀行等ニ私設商務局設置ノ
事ヲ交渉スルコト

(九)

七補助航路新設擴張案

(1) 上海ヲ基點トスル支那沿岸航路ヲ開クコト

(イ) 上海天津線 (ロ) 上海廣東香港線

(1) 香港營谷間ノ新航路ヲ開クコト

(2) 現在ノ濠洲航路ヲあてれーこ及新西蘭ニ延長スルコト

右決議ノ理由

海運業ノ發達チ圖ルコトハ島國タル我國ニトツテ經濟上及國防
上緊要ナルハ言ヲ待タス故ニ海運業ニ對シテ直接及間接ニ諸般
ノ保護獎勵ヲ加フルノ必要アリト雖モ特ニ我貿易ノ發展チ圖ル
カ爲メニハ海外ノ重要市場ニ對シテ定期航路ヲ設置スルコトヲ
急務トス

今次ノ歐洲戰爭ハ大ニ我海運業ノ發達ヲ促シツツアリ之カ爲メ
直接間接ニ戰時ニ於ケル我貿易ノ發展ヲ助グルコト大ナリト雖
モ海運業モ亦一ノ營利事業ナルカ故ニ之ヲ自然ニ放任スルトキ
ハ其活動ハ主トシテ眼前ニ收益ノ最多ナル方面ニ向フコトナ
リ必スシモ我貿易ノ發展上必要トスル方面ニ向フモノニアラス
是レ此際貿易上重要ナル特定ノ海外市場ニ對シ補助航路ヲ開設
スルノ必要アル所以ナリ

戰時中新ニ海外市場ヲ開拓スルカ爲メニモ將タ一度戰時中ニ占
メ得タル貿易上ノ地歩ヲ戰後ニ且ツテ維持スルカ爲メニモ定期
航路ノ開設ハ重大ノ利益ヲ與フルモノナルカ之ヲ開設ハ一日モ
早ク之ヲ斷行スルコトヲ要シ決シテ戰爭ノ終熄ヲ待ツコト能ハ
ス其開設ノ主タル目的カ戰時中ニ貿易ヲ擴張シ且ツ既ニ貿易上
占メ得タル地歩ヲ益々鞏固ナラシメテ戰後ノ列國競爭ニ備フル
ニアル事ハイフヲ待タザル所ナレトモ更ニ我海運業ヲ發達セシ
ムル上ヨリイフモ世界ノ一般ニ船腹ノ缺乏セル今日ニ定期航路
ヲ開キテ其寄港地ノ市場トノ連絡ヲ鞏固ナラシムルコトハ戰後
列國ノ海運業ノ競爭ニ對シテ有利ノ地位ニ立ヲ墮テ之ニ對スル
國庫補助ノ負擔ヲ節約シ得ル所以ナリ我國ノ船舶力他ノ諸方面
ニ活動シテ多大ノ收益ヲ舉ケツツアル今日ニ於テ特ニ國庫補助
ニ由リ其一部分ヲ特定ノ航路ニ從事セシムルノ損失ハ上述ノ如
キ將來ノ利益ニ由リ之ヲ償フテ餘アリ戰時貿易ノ好況ニ由リテ
資力ノ充實セル今日ハ正ニ海外投資ノ好機會ナルコト明カナル
カ海外市場ニ對シテ定期航路ヲ開設スルコトモ亦有利ナル海外
投資ノ一ツニ外ナラサルナリ

時事問題

關西南商業會議所聯合經濟調查會事業概況

貿易及海運業ヲ發達セシムルニハ世界ノ各方面ニ對シテ航路網ヲ設クルコトヲ理想トスヘシト雖モ我財政ノ航路補助費負擔ノ能力ヲ顧ミサルヘカラス第一補助航路ノ新設擴張ハ成ルヘク之ヲ現在及將來ノ貿易ニ取ツテ重要ナル方面ニ限ラサルヘカラス但シ其新設擴張ハ成ルヘク現存ノ補助航路ト重複シテ相互ノ競争ヲ生セシムルコトヲ避クルヲ要ス第二ニ海運業者カ現ニ任意ニ行ヒツツアル航路ノ新設擴張ニ對シ相當ノ補助ヲ與ヘテ之ヲ命令航路トスルコトモ有利ナルヘシト雖モムシロ未タ何人モ着手セサル航路ヲ開設スルコトヲ必要トス此等ノ理由ヨリ判斷スレハ本案ニ定ムル諸航路ノ補助ハ今期ノ議會ニテ補助費ノ豫算ヲ決定シテ速カニ其實行ニ着手スルコトヲ適當トス之カ爲メ必要トスル補助費ハ我財政ニ取ツテ過重ノ負擔ヲ爲スモノトイフヲ得ス

本案ニ定ムル二航路ハ直接本邦ニ發着點ヲ有セサル外國沿岸航路ナリト雖モ此航路ニ對シテモ我輸出入品ニ關スル運賃ノ制限ヲ加ヘ又成ルヘク此航路ト既存ノ本邦直通航路トノ接續連絡ヲ完全ナラシムルトキハ我貿易ヲ發展セシムルノ効果大ナルヘシ東洋南洋方面ニ對スル既存ノ航路ハ幹線ニシテ本案ニ定ムル外國沿岸航路ハ之カ支線トナルモノナリ特ニ東洋南洋ハ今後我貿易及海運業ノ發展ノ爲メニ多ク重要ノ關係ヲ有スルカ故ニ此方面ニ對シテ如上ノ支線の航路ヲ開設スルコトハ其他ノ航路ノ新設擴張ト齊シク目下ノ急務ナリ

(十)

第四卷 (第二號 一三二) 二八四

(八) 英國莫大小禁輸解除申請案

日英間ノ國際貿易ハ歐洲戰爭開始以來幸ニ順勢ナリテ發展シ吾人ナシテ大ニ意ヲ強カラシムルモノアリ然レニ今回英國政府ニ於テ突如トシテ綿製莫大小類ノ輸入ヲ禁止スルコトトナリタルカ爲メ我當業者ハ其製造業者タルト輸出貿易業者タルト之間ハ一齊ニ甚大ナル打撃ヲ受クルニ至レリ現 前年及本年上半年期ニ於ケル實況ヨリ推シテ本年申中ノ輸出總額ハ約四千萬圓内外ニ達スヘキ見込ヲ以テ大ニ資本ヲ増加シ工場ヲ増設シ職工ヲ增備シテ之カ生産ニ從事シ以テ續々入り來ル所ノ英國ノ注文ヲ引受ケ我同盟國ノ需要ニ對應センコトヲ努メツツアリタルノ際一朝不意ニ此禁止令ノ發布ニ遭ヒ其ノ爲メニ被ムル所ノ直接及間接ノ損害ハ左記理由ノ如クニシテ如何ナル程度ニ達スヘキヤ實ニ殆ント測リ知ルヘカラサルモノアリ是レ本會カ我產業ノ利益保全上忍諾ニ附スヘカラオト爲シ我政府當局カ深ク思フ此ニ致サレンコトヲ切望シテ措カサル所以ナリ殊ニ英國今次ノ措置ハ鐵キニ佛國巴里ニ開會セル聯合與國經濟會議決議ノ根本義タル與國間ニ於ケル經濟的共助ノ遂行相互利益ノ保全ナ期スルノ趣旨ニ背反スルモノナルヲ認ムルカ故ニ政府當局ニ於テ此際速ニ英國政府ニ對シ機宜ノ交渉ヲ遂ケラレ我生産貿易ノ發展ヲ阻礙スルニ至ラシメサランコトヲ要望ス

右申請ノ理由

(1) 歐洲戰亂勃發後從來世界市場ニ精製工業品ヲ供給セシ先進諸國ノ輸出ノ頓ニ減退シタル結果ハ我國工業ヲ刺戟シテ此ニ粗製

工業ヨリ精製工業ニ進ミ入ルノ氣運ヲ促致セリ現ニ我最大工業タル綿製業ノ如キ實ニ其ノ一大事例タルト失ハス即チ從前ニ在リテハ其輸出ハ綿絲ヲ主トシタリシモ今日ニ於テハ更ニ之ニ加工シタル綿製品ノ輸出ノ急速ニ増進シツツアルノ事實ハ以テ明ニ我工業界ノ進運方向ヲ察知スルニ足ルヘキナリ

(2) 綿絲ノ加工精製ノ主ナル方法トシテハ織布工業ト莫大小工業トノ二者ヲ推スヘシ而シテ需要ノ大サノ點ヨリイヘハ綿布ノ方莫大小製品ニ比シテ遙カニ大ナルカ故ニ我國策トシテ十分ニ我織布工業ノ發達ヲ圖ルヘキハ固ヨリ其所ナリト雖モ今迄キテ生産ノ方面ヨリシテ見來レハ綿布少クトモ輸出綿布ハ主ニ機械ノカト職工ノ熟練トヲ要シ隨テハ綿布ヲ以テ先進諸國ト競爭スルハ頗ル困難ナリトイヘサルヘカラス然ルニ莫大小ノ生産ハ織布ヨリモ勞働ノ工程ヲ要スルコト多ク隨テ勞銀ノ尙ホ比較的ニ低廉ナル我國ハ莫大小製品ヲ以テ先進國ト競爭スルニ有利ナル地位ニ在リ假令莫大小製品ノ需要ハ綿布ニ比シテ小ナリトスルモ若シ況ク世界各國ニ於ケル需要額ヲ通計シ來ラハ其額タル甚大ニシテ普通商品中能ク其右ニ出ツルモノハ極メテ少カルヘシ果シテ然ラハ我國ニトリテ生産上特ニ長所トスル所ノ莫大小工業ノ發展ヲ圖ルコトハ之ヲ經濟上重要ノ國策トシテ列國ニ對シ飽クマテ其利益ヲ保護セサルヘカラス而シテ之ヲ保護スルニ最必要トスル所ハ我莫大小製品ノ爲メニ極力世界各國ノ市場ヲ開放セシムルニ在リ

(3) 我工業產品ノ主ナル販路ハ自ら經濟事情ノ我國ヨリモ幼稚ナル東洋南洋等ノ諸地方 在ルヘシト雖モ而モ今大ニ我工業ヲ發

時事問題 關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況

達セシムルカ爲メニハ我工業產品ナシテ出來得ル限りノ手段ヲ講シテ購買力ノ豐富ナル先進諸國ノ市場ニ侵入シテ以テ其地歩ヲ占得セシメサルヘカラス從來我國ハ歐米先進國ニ對シテハ主トシテ原料品若クハ半製品ヲ輸出シタリシモ今後ハ此等諸國ニ對シテ下等工業產品ノ輸出ニ努力セサルヘカラス其故ハ此等先進國ニ於テモ所謂下等工業產品ノ需要ハ固ヨリ決して少キニハアラスト雖モ技術進歩シ勞銀騰貴セル先進諸國ニ於テ下等(隨テ廉價)ナル工業產品ノ生産ニ從事スル 採算上不利ナリ殊ニ生産過程ノ勞働ヲ對スルコト大ナルモノニ在リテ然リトス現ニ英國ノ如キハ戰爭前ニハ下等ノ莫大小製品ヲ獨逸其他ノ大諸國ヨリ輸入シ其額頗ル大ナリシカ戰爭開始以來此種ノ下等品ハ本邦及米國ヨリ之ヲ輸入スルニ至レルナリ之ヲ要スルニ今後我國カ先進ノ歐洲諸國ニ對シ明瞭キ輸出スルノ見込アル全製品ハ莫大小ノ外ニ重要ナルモノハ極メテ少シ加之彼ニ在リテハ我對歐輸出ノ莫大小製品ヲ目シテ下等品ト爲スモ是レ固ヨリ生活程度ノ高キ先進國ノ標準ヨリ見テイフニ外ナラス之ヲ以テ東洋南洋等ノ普通ノ需要品ニ比スレハ概ネ上等品ニ屬スルモノナルカ故ニ我國カ歐洲先進國ニ對シ多量ニ輸出ヲ行フヲ得ルトキハ之カ爲メ我莫大小生産業ハ非常ノ刺激ヲ受ケテ其技術大ニ進歩シ其結果東洋南洋方面ニ對スル發展ニ付キテモ從來ノ如ク上等品ノ供給ハ之ヲ歐洲先進國ニ譲リ我國ハ下等品ノ供給ヲ主トスルカ如キ不利ノ狀態ヲ一變シ今後中上等品ノ供給ニツキテモ我國カ先進國ニ取リテ代ル上ニ於テ其効果決シテ鮮少ナリトイフヘカラス

(4) 戰前我國ハ東洋南洋等ノ方面ニ對シ相當ニ多額ノ綿莫大小製

品ヲ輸出シ來レルモ其品質ハ概シテ甚タ劣等ナルカ故ニ我生産業者カ此等ノ輸出品ノ生産ヲ主トスルニ於テハ到底其生産業ヲ進歩セシメテ世界市場ニ於ケル重要ナル莫大小生産國トシテ頭角ヲ顯ハスニ由ナキナリ然ルニ戰爭開始以來英國ヨリ續々トシテ多額ノ注文入り來レルノミナラス此等注文主ヨリハ我當業者ニ對シ其製品上ニ將タ又其ノ商取引上ニ種々懇談スル所アリタルカ爲メ我當業者ハ大ニ之ニ刺戟誘發セラレ資本ヲ増大シ工場ヲ増設シ特殊ノ機械ヲ据付ケ職工ノ増備ヲ進テ熟練職工ノ養成ヲ圖ル等一意専心生産ノ改良ニ努メ以テ英國注文主ノ希望ヲ充タシ同國消費者ヲ満足セシメンコトヲ期シタルノ結果我莫大小工業ハ最近一年有餘ノ短日月間ニ於テ異常ノ進歩ヲ爲シ今ヤ殆ト全ク其面目ヲ一新セルノ觀アリ然リト雖モ我莫大小工業ノ今日ノ狀態ハ方ニ僅ニ健全ナル進歩ノ路程ニ上リ得タリトイフニ過キスシテ之ヲ以テ歐米ノ先進工業國ノ生産狀態ニ比スレハ尙ホ甚タ幼稚不備ナルモノナルカ故ニ我國策上今後益々力ヲ同工業ノ發展ニ致スノ必要アリ隨テ我當業者モ亦能ク其意ヲ體シテ銳意之カ改良擴張ニ努力シツツアリシナリ即チ今日ハ是レ實ニ我莫大小工業ノ基礎ヲ堅實ナラシムルカ爲メニ最大切ナル時期ナリトス然ルニ今ヤ突然英國政府ノ禁輸ニ遭遇シ我當業者カ折角萬難ヲ排シテ施設經營シ着々歩武ヲ進メツツアリタル同工業發展ノ氣勢ハ忽ニ全ク挫折セラレ爲メニ我生産貿易上測リ知ルヘカザサルノ大損害ヲ被ラシムルニ至レリ

5) 英國ノ此輸入禁止ハ獨リ我國ヲシテ工業發展ノ利益ヲ失ハシムルノミナラス現在ニ於テモ亦多大ノ損害ヲ當業者ニ及ホスモ

ノナリ蓋シ英國向ノ莫大小製品ハ東洋南洋向ト異リテ特別高價ナル機械ヲ要スルモノナルカ目下我莫大小製造業者カ英國向製品ノ爲メニ特別ノ生産設備ヲ爲セル者頗ル多キコトハ我輸出莫大小製品ノ大半(約六割)カ實際ニ英國向ナルノ事實ニ見テモ明ナリ我國ノ當業者カ此ノ如ク他ニ轉用シ得サル英國向ノ生産ニ從事スルニ至リシ徑路ヲ見ルニ當業者ハ最初其生産ニ着手スルコトヲ頗ル躊躇セシモ英國ノ一般注文者カ切リニ當業者ヲ誘引シ事實上此生産ノ前途ノ安全ナルコトヲ保證スルカ如キ態度ヲ採リシノミナラス英國向キノ我莫大小製品ハ米國其他ノ製品ト異リ全部低廉ノ下等品ニシテ英國中層社會以下ノ日常生活ニ必要ヲ充タシ其間些ノ高價ナル奢侈的性質ヲ帶ヒタルモノナキカ故ニ敍物其他ノ必要品ト同シク輸入禁止ヨリ當然除外セラルヘキヲ確信シタル爲メナリ故ニ英國カ此際突然禁止ヲ實行スルコトハ獨リ經濟上我國ニ大損失ヲ負擔セシムルノミナラス我國民ノ對英感情ヲ損シ聯合國間ノ戰時及戰後ノ一致ヲ害スルコトモ亦大ナリ

6) 各交戰國ノ輸入禁止ヲ行フヤ其表面ノ理由トスル所ハ常ニ船腹ヲ調節スルノ一事ニ在リ然レトモ苟モ一且輸入禁止ヲ實行スルトキハ其本來ノ目的ノ何レニ在ルチ間ハス當然或程度マアハ正貨ノ流出ヲ防止スルノ結果ヲ生スルハ勿論若其禁輸品カ必要品ナルトキハ假令之カ輸入ヲ禁止スルモ國民ハ之カ消費ヲ廢スルコトヲ得サルカ故ニ自ラ國內ニ於ケル同種品生産業ノ發達ヲ促進シ實際上所謂國產獎勵ノ目的ヲ以テ外國產品ヲ排斥シタルト同一ノ結果ヲ生スルモノナリ是ヲ以テ今又英國ノ綿莫大小

製品ニ對スル輸入禁止ハ全ク船腹調節ノ目的ニ出タルモノナルコト同國政府カ我大使ニ明言シタル所ノ如クナリトスルモ元來綿莫大小製品ハ食料品ト同シク日常ノ必要品ナルカ上ニ現ニ我國ヨリ英國ニ輸入スル莫大小製品ハ前述ノ如ク孰レモ價格低廉ナル普通品ニシテ英國下層社會ノ生活ニ必要缺クヘカサルモノニ限ラレ些ノ高價ナル奢侈的製品ヲ包含セサルカ故ニ之カ輸入ヲ禁止スルトキハ政府ノ當面直接ノ目的ノ如何ニ拘ラズ必然英國ニ於テ此種下等品ノ生産業カ保護獎勵ヲ受クルノ結果ヲ來ササルヲ得サルナリ而シテ一旦戰爭中ニ此種下等品ノ生産業カ禁輸ノ特惠ヲ得テ英國内ニ發達スルトキハ戰後ニ於テモ當業者ハ必然保護政策ノ繼續ヲ主張スヘキノミナラス今次ノ戰爭ニヨリテ大ニ經濟思想ヲ變化セル英國ノ輿論モ亦其當業者ノ要求ヲ容レテ保護ヲ承認スルニ至ルノ危險アリ則チ英國今次ノ禁輸ハ獨リ之ヲ戰爭中ノ應急措置トシテ輕々ニ看過スヘキニアラサルナリ即チ我ニ對シテ解禁ノ實ヲ得ルニアラスンハ我莫大小工業ハ之カ爲メニ永久ニ發展ヲ阻害セラレントスルモノタルコトヲ覺悟セサルヘカラス是レ實ニ此際最善ノ手段ヲ盡シテ是非共英國ヲシテ我產品ニ對シ解禁セシメサルヘカサル所以ナリ

(7)英國今次ノ莫大小禁輸カ同政府當局ノ言明スルカ如ク其目的果シテ一ニ船腹ノ調節ニ在リトセハ他國ヨリスル輸入ニ關シテハ知ラス我國ニ對シテ之ヲ適用スルハ全ク事ノ真相ヲ辨知セサルヨリスル謬見ニ坐スルモノナリトイハサルヘカラス何トナレハ今日我船舶ニシテ英國ニ向ヒ航行スルモノハ單ニ日本郵船會社ノ定期船ノミニアラシテ莫大小製品其他對英輸出品ノ増加

時事問題 關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況

ニ件ヒ定期船ノ外ニ多數ノ臨時船ヲ差立テツツアリ殊ニ我莫大小製品ノ如キハ外國船ノ船腹ヲ借ルコト極メテ少ナク其ノ殆ント全部ハ我船舶ヲ以テ輸送シ居ルノ實況ニシテ其ノ出荷量ニ付キティフモ一箇年間ヲ通算シテ三四萬噸ノ上ニ出テス之ヲ日英間ニ航行スル船舶ノ輸送力ノ全量ニ對比シ來レハ固ヨリ決シテ大ナク以テ稱スヘカラス加之若シ英國カ我カ莫大小製品ノ輸入ヲ禁止シタルカ爲メ我出荷量ニ一年三四萬噸ノ減少ヲ來ストキハ我カ英國行ノ船舶モ亦自ラ之ニ相當スル噸數ヲ減少シテ之ヲ東洋南洋等ノ他方面ニ向ハシムルニ至ルヘケレハナリ果シテ然ラハ我ニ對スル莫大小製品ノ禁輸ハ英國ノ爲メニ船腹調節上殆ント何等見ルヘキノ効果ナク而シテ一面徒ラニ我カ生産貿易上ニ甚大ナル損害ヲ及ホスモノナリトイフヘキナリ

船腹ノ調節ト我莫大小製品ノ輸送トノ實際關係ハ右ニ述ヘタルカ如クナリト雖モ若シ英國當局ニシテ飽クマテ船腹調節上莫大小製品ノ輸入禁止ノ必要ヲ主張スルニ於テハ我國ハ少クモ對英輸出莫大小ノ噸數ニ相當スル船腹ヲ特ニ對英航路ニ増加スルヲ條件トシテ英國ヲシテ我國ニ對シ特別ニ解禁ヲ爲サシムルノ策ニ出ツルモ亦強チニ辭スヘキニアラサルナリ即チ我國ニ對シテ解禁スルカ爲メニ英國ヲシテ我ニ比シテ遙カニ巨額ノ輸入ヲ爲ス所ノ米國ニ對シ共ニ解禁ノ利ニ均霑セシムルノ已ムヲ得サルニ至ラシムルハ戰時現下ノ應急策上ヨリ見テ或ハ英國政府ノ解禁實行ヲ難スル所ナルヘキヲ思フカ故ニ右ノ如ク我カ定期船ノ特別増加ノ條件ノ下ニ我ニ對シテ解禁ヲ行ハシムルニ於テハ英國ニシテ自ラ能ク他ニ對シテ懸念ヲ除キ不利ヲ免レシムルヲ得

第四卷 (第二號 一三五) 二八七

ヘケレハナリ

(8) 英國政府トシテハ假リニ何等國產獎勵ノ目的ヲ持スルコトナシトスルモ英國ノ莫大小業者ニ於テ此禁輸ヲ國產獎勵ニ利用セシトシ隨テ我國ニ對スル解禁ニ反對スルノ虞ナキニアラス故萬已ムヲ得サル場合ニ於テハ我國ハ禁輸解除ノ範圍ヲ到底英國ニテ生産不可能ナル廉價品ニ制限スルヲ辭セサルナリ即チ斯ノ如クスルトキハ一方英國ヲシテ同國ノ生産ニ對シ大ニ競争シ得ル所ノ米穀製品ノ輸入ヲ防止スルヲ得セシムルト同時ニ一方我國ヲシテ我特有ノ經濟事情ニ適應シテ廉價品ノ供給ヲ繼續スルヲ得セシムヘケレハナリ是レ他ナシ米國ニ在ツテハ到底我國ノ如ク廉價品ヲ有利ニ生産スルヲ得サレハナリ又假リニ英國カ外品排斥ニ由リテ下等品マテモ悉ク國內ニ於テ生産セントスルモノトセンカ斯クテハ其價不相當ニ高價トナルヘキカ故ニ到底之ヲ以テ國內多數ノ需要ヲ満足ニ充タスコト能ハサルヘキノミツラス此ノ如キ高價品ヲ外國ニ輸出シ殊ニ購買力ノ小ナル諸多ノ後進國ノ市場ニ輸致シテ以テ戰後ニ於ケル英國ノ世界貿易及航海上ノ利益ヲ擴張セントスルカ如キハ固ヨリ決シテ望ムヘキ所ニブラサルナリ是ヲ以テ今單ニ英國ノ利益ヨリイフモ自由ニ廉價ナル我下等品ヲ輸入シテ以テ一面國內多數ノ下層社會ノ必需ヲ充足スルト同時ニ一面之ヲ利用シテ大ニ其外國貿易及航運業上ノ利益ノ擴張ニ資スルノ甚得策タルヲ認メシムンハアラサルナリ

(9) 萬一英國政府ノ眞意カ戰後多數ノ壯丁ノ戰場ヨリ歸リ來リテ夫々從前ノ職業ニ復事スルカ爲メニ自ラ職業ヲ失フヘキ多數ノ

婦人労働者ニ對シ適當ナル職業ヲ與フルノ目的ヲ以テ簡易ナル勞働ヲ多ク要スル所ノ莫大小工業ヲ保護ストイフカ如キ社會政策上ノ意味ヲ有スルモノナルニ於テハ我國ハ大ニ同國政府ノ反省ヲ乞フサルヲ得サルナリ元來我ヨリシテ英國ニ輸入スル所ノ莫大小製品ハ既ニ前段ニ述フル如ク專ラ下層民ノ生活上ノ必要品ナルカ故ニ之ヲ排斥シテ強テ高價ナル自國產品ヲ使用セシメントスルカ如キハ社會政策トシテ決シテ當テ得タルモノニアラズ其害果ノ甚大ナル固ヨリ多ク言フヲ要セサルナリ加之今若シ強テ英國^内ニ於テ我輸入莫大小製品ノ如キ下等廉價品ヲ生産セントスレハ必ス最劣惡ナル家内工業ニ依ルノ外ナキナリ然ルニ英國政府ハ戰前ニ在リテハ此種家内工業ノ弊害ノ甚大ナルニ鑑ミ最低勞銀法ヲ制定シテマテモ之カ取締ニ苦心セルニモ拘ハラス今日忽チ其方針ヲ一變シテ如上ノ廉價莫大小製品ノ國內生産ヲ致テセントスルハ自家揜着、前後矛盾ノ甚シキモノトイフヘク而シテ其實行ノ困難ナル亦以テ之ヲ想察スルニ難カラサルナリ之ヲ要スルニ此種ノ措置ハ社會政策上殆ト其利益ヲ認ムル能ハス假令若干ノ利益アリトスルモ強テ其利益ヲ招來センカ爲メニ此禁輸ヲ行ヒ以テ同盟國タル我國ヲシテ學ケテ言フヘカラサルノ大損害ヲ被ラシムルヲ忍ハントスルニ至リテハ吾人ハ此ニ切言シテ以テ英國當局ノ反省ヲ促カザル得サルナリ

以上ハ畢竟スルニ綿製莫大小製品ノ輸入ニ關シ英國ノ我國ニ對シテ特別ニ解禁ヲ行フハ英國ニ取リテ決シテ不利ト爲スヘキ所ニアラサルノ事由ヲ辯疏スルノ一方、我國ノ爲メニハ我國策トシテ發達チ圖リツツアル重要ナル工業ノ利益ヲ保全スルヲ得

セシムル所以ノモタルヲ明ニヒシカ爲メニ外ナラサルナリ我
實業界ハ今や國運ヲ賭シテ戰ヒツアル友邦ニ對シテ其苦痛ト
不利トヲ無視シテ自我一偏ノ利益ヲ強要セントスルモノニアラ
ス故ニ此禁輸解除ノ目的ヲ達スルカ爲メニハ英國ノ利益ヲ害セ
サルノ條件ニシテ我國ニ於テ相當實行シ得ヘキ所ハ進ミテ以テ
十分ノ之ヲ實行スルコトヲ辭セサルナリ即チ吾人ノ切ニ望ム所
ハ此際具サニ事理ノ存スル所ヲ說キ懇ニ情義ノ關スル所ヲ陳ヘ
テ英國政府ヲシテ我實業界カ飽クマテ禁輸解除ヲ要望スル所以
ノ眞意義ヲ諒解セシメ速方ニ圓滿ナル解決ヲ得以テ彼我經濟利
益ノ保全上幸ニ遺憾ナキヲ得セシムルニ在リ

(十一)

九) 濠洲羊毛賣買禁止ニ對スル決議

我國毛織工業ハ漸ク發達セントスル氣運ニ際會シタル今日濠洲
政府カ英國政府ノ徵發ニ應ジテ羊毛ノ賣買禁止ヲ爲シタルカ爲
メ當業者ノ事業經營ハ非常ニ困難トナリ斯業ノ健全ナル發達ヲ
阻害スルコト甚シカラントス仍テ此際我政府カ濠洲及英國ニ對
シ公平ナル價格ヲ以テ我國ニ必要ナル數量ノ濠洲羊毛ヲ供給セ
シムルヤウ一日モ早ク交渉ヲ遂クルトヲ要望スルコト

十) 露國輸入禁止并ニ西比利亞東清兩鐵道沿線

ニ於ケル滯貨ニ對スル決議

浦潮斯德港並ニ西比利亞東清兩鐵道沿線ニ於ケル滯貨巨多ニ上
リ實際上日露貿易ノ發展ヲ阻碍スルコト甚シキカ故ニ此際我國

ヨリ貨車及汽罐車ヲ露國ニ供給シ之ヲ西比利亞東清兩鐵道沿線
ニ於ケル本邦貨物ノ輸送ニ使用セシムルノ方策ヲ決定シ對露決
濟ニ關スル本會ノ決議ト共ニ其實行時期スルコト(定)